

大麻中校区

家庭学習のスタンダード

家庭学習のねらい

- ◇毎日、学習する習慣を身につける
- ◇授業で学んだ内容を定着させる
- ◇「何をできるようにするか」を決めて学習する
- ◇学習の定着が目的 ⇒ ①～⑤に取り組む
- ◇学力向上が目的 ⇒ ①～⑥に取り組む



- ①決まった時間帯に学習する
- ②学習に集中できる環境を作る(テレビ・携帯×)
- ③正しい姿勢で座り、正しく鉛筆(ペン)を持つ
- ④宿題・課題・提出物に取り組む
- ⑤復習をして、学んだことを定着させる
- ⑥自分に必要な学習に取り組む
(苦手克服、得意を伸ばす、塾の宿題など)



家庭学習時間のめやす

学年×10分+10分 以上

※小学1年生は20分(1学年×10分+10分)以上

※中学1年生は70分(7学年×10分+10分)以上

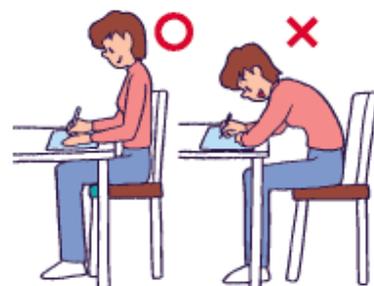
しょうがく ねんせい かていがくしゅう 小学1年生の家庭学習

かていがくしゅう
まいにち、家庭学習をつづけよう

がくしゅうじかん
学習時間のめやすは **20分** です

かていがくしゅう 【家庭学習のまえ】

- ◆がっこうからのプリントをおうちのひとにわたす
- ◆^{がくしゅう}学習するばしょをせいりせいとんする
- ◆テレビやゲームのでんげんをきる
- ◆しゅくだいをかくにんする



かていがくしゅう 【家庭学習をする】

- ◆きまったじかんに^{がくしゅう}学習をはじめる
- ◆ただししいせいで、ただしくえんぴつをもつ
- ◆さいしょにしゅくだいからとりくむ
- ◆しゅくだいがおわったらふくしゅうをする



かていがくしゅう れい 【家庭学習のないよう例】

こくさ	・おんどくれんしゅう ・どくしょ ・にっき ・ひらがな、かたかな、かんじのれんしゅう
さんすう	・けいさんのれんしゅう
そのた	・にがてなところをれんしゅう ・がっきのれんしゅう

かていがくしゅう 【家庭学習がおわったら】

- ◆じかんわりをたしかめて、つぎのひの^{がくしゅう}学習のどうぐをそろえる
- ◆えんぴつをけずっておく

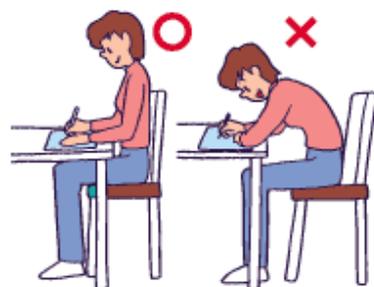
しょうがく ねんせい かていがくしゅう 小学2年生の家庭学習

まいにち かていがくしゅう
毎日、家庭学習をつづけよう

がくしゅうじかん
学習時間のめやすは **30分** です

かていがくしゅう 【家庭学習のまえ】

- ◆学校からのプリントをおうちのひとにわたす
- ◆学習するばしょをせいりせいとんする
- ◆テレビやゲームのでんげんを切る
- ◆しゅくだいをかくにんする



かていがくしゅう 【家庭学習をする】

- ◆きまったじかんに学習をはじめる
- ◆正しいしせいで、正しくえんぴつをもつ
- ◆さいしょにしゅくだいからとりくむ
- ◆しゅくだいがおわったらふくしゅうをする



かていがくしゅう れい 【家庭学習のないうえ】

こくご	・おんどくれんしゅう ・どくしょ ・にっき ・ひらがな、かたかな、かんのれんしゅう
さんすう	・けいさんのれんしゅう
そのた	・にがてなところをれんしゅう ・がっきのれんしゅう

かていがくしゅう 【家庭学習がおわったら】

- ◆じかんわりをたしかめて、つぎのひの学習のどうぐをそろえる
- ◆えんぴつをけずっておく

小学3年生の家庭学習

自分でやることを決めて学習しよう
学習時間の目安は **40分** です

【家庭学習の前】

- ◆学校からのプリントを家の人に渡す
- ◆学習する場所を整理整頓する
- ◆テレビやゲームの電源を切る
- ◆宿題の内容を確認する



【家庭学習をする】

- ◆決まった時間に学習を始める
- ◆正しい姿勢で、正しく鉛筆を持つ
- ◆最初に宿題から取り組む
- ◆宿題が終わったら復習をする
- ◆授業のノートを活用して復習をする



【家庭学習の内容例】

国語	<ul style="list-style-type: none">・音読練習 ・漢字練習 ・日記をつける・言葉の意味やことわざ調べ ・読書・アルファベット ・ローマ字
算数	<ul style="list-style-type: none">・計算練習
その他	<ul style="list-style-type: none">・楽器練習 ・タイピング練習・学校から紹介されているサイト (デジタルドリル含む) を使ってタブレット学習

【家庭学習が終わったら】

- ◆今日の家庭学習のがんばりを振り返る
- ◆時間割をたしかめて、次の日の学習の道具をそろえる

小学4年生の家庭学習

自分でやることを決めて学習しよう

学習時間の目安は **50分** です

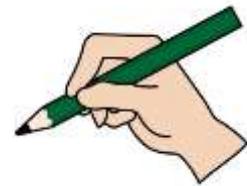
【家庭学習の前】

- ◆学校からのプリントを家の人に渡す
- ◆学習する場所を整理整頓する
- ◆テレビやゲームの電源を切る
- ◆宿題の内容を確認する



【家庭学習をする】

- ◆決まった時間に学習を始める
- ◆正しい姿勢で、正しく鉛筆を持つ
- ◆最初に宿題、次に復習をする
- ◆授業のノートを活用して復習をする
- ◆授業で分からなかった問題・課題はやり直す



【家庭学習の内容例】

国語	・音読練習 ・漢字練習 ・日記(正しい文法で) ・意味やことわざ調べ ・読書 ・アルファベット ・ローマ字
算数	・計算練習 ・作図の練習 ・問題集を解く
社会	・日本について(都道府県、地理、地図の見方)
理科	・実験や観察の復習 ・調べ学習(動植物・太陽や月・星座・天気)
その他	・楽器練習 ・タイピング練習 ・学校から紹介されているサイト (デジタルドリル含む)を使ってタブレット学習

【家庭学習が終わったら】

- ◆今日の家庭学習のがんばりを振り返る
- ◆時間割をたしかめて、次の日の学習道具を準備する

小学5年生の家庭学習

「何をできるようにするか」を決めて学習しよう
学習時間の目安は **60分** です

【家庭学習の前】

- ◆学校からのプリントを家の人に渡す
- ◆学習する場所を整理整頓する
- ◆テレビやゲームの電源を切る
- ◆宿題を確認し、今日の学習計画を立てる



【家庭学習をする】

- ◆決まった時間に学習を始める ◆正しい姿勢で、正しく鉛筆を持つ
- ◆最初に宿題、次に復習、そして自分に必要な学習をする
- ◆復習は授業のノートを活用し、分からない問題・課題はやり直す

【家庭学習の内容例】

国語	・音読練習 ・漢字練習 ・日記(正しい文法で) ・意味やことわざ調べ ・読書
算数	・計算練習 ・作図の練習 ・問題集を解く
社会	・日本について(都道府県、生産物) ・世界について
理科	・実験や観察の復習 ・調べ学習(動植物・太陽や月・星座・天気)
その他	・楽器練習・学校から紹介されているサイト (デジタルドリル含む)を使ってタブレット学習

【家庭学習が終わったら】

- ◆今日の家庭学習の取り組みを振り返る
- ◆時間割を確認して、次の日の学習道具を準備する

小学6年生の家庭学習

「何をできるようにするか」を決めて学習しよう
学習時間の目安は **70分** です

【家庭学習の前】

- ◆学校からのプリントを家の人に渡す
- ◆学習する場所を整理整頓する
- ◆テレビやゲームの電源を切る
- ◆宿題を確認し、今日の学習計画を立てる



【家庭学習をする】

- ◆決まった時間に学習を始める ◆正しい姿勢で、正しく鉛筆を持つ
- ◆最初に宿題、次に復習、そして自分に必要な学習をする
- ◆復習は授業のノートを活用し、分からない問題・課題はやり直す

【家庭学習の内容例】

国語	・音読、漢字練習 ・日記、感想文(正しい文法で) ・新聞 ・意味やことわざ、四字熟語調べ ・読書 ・短歌、俳句
算数	・計算練習 ・作図の練習 ・問題集を解く ・自分で問題を作る
社会	・日本について(都道府県、生産物) ・世界について ・日本の歴史 ・世界地図
理科	・実験や観察の復習 ・調べ学習(動植物、太陽や月、星座、天気、地層)
その他	・楽器練習・学校から紹介されているサイト (デジタルドリル含む)を使ってタブレット学習

【家庭学習が終わったら】

- ◆今日の家庭学習の取り組みを振り返る
- ◆時間割を確認して、次の日の学習道具を準備する

中学生の家庭学習

「理解できないことを理解できるようにする」ことが学習

「理解できることをさらに深めること」ことが学習

学習時間の目安(最低でも)

※受験期はさらに必要

	通常	テスト前
1年生	80分	2時間
2年生	90分	3時間
3年生	100分	4時間

【家庭学習の前】

- ◆学校からのプリントを家の人に渡す
- ◆学習する場所を整理整頓する。学習に必要な物だけ机に置く
- ◆静かな学習環境を作る。ながら勉強はNG
(テレビやゲームの電源オフ。スマホ・携帯は目の届かない所に)
- ◆宿題を確認し、今日の学習計画を立てる
- ◆学習の目的(何をできるようにするか)を決める

【家庭学習をする】

- ◆決まった時間に学習を始める ◆正しい姿勢で、正しく鉛筆を持つ
- ◆最初に宿題、次に復習、そして自分に必要な学習をする
- ◆復習は授業のノートを活用し、分からない問題・課題はやり直す
- ◆「自分の力で問題を解いて正解できる」⇒「理解した」と考える

【家庭学習が終わったら】

- ◆今日の家庭学習の取り組みを振り返る
(できるようになったこと。今後の課題。課題をどのように解決するか)
- ◆時間割を確認して、次の日の学習道具を準備する

国語科

- 人は言葉をつかって生活しています。物事を考えたり人に伝えたりするのは全て言葉を通して行なわれます。
- 人の話を聞いたり、書物を読んだりすることは物の見方や考え方を深めます。また自分の考えを持ち、適切に話したり書いたりする力を身につけることは相手とのコミュニケーション能力を高め、生活をより良いものにします。それはいかに「生きるか」という事にもつながっていくでしょう。
- 言葉の学習や習得は人間形成につながり、想像力や豊かな感性が身につくとともに、すべての教科の基礎となります。

授業

- ①前の時間の内容を確認する。
- ②授業の課題をしっかりとつかむ。
- ③先生の質問に自分なりの考えを持つ。
- ④自分の考えをはっきり述べる。
- ⑤先生の話しや友達の発言をしっかりと聞く。
- ⑥話合いに積極的に参加する。
- ⑦ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。
- ⑧板書以外のこともメモする。
- ⑨必要に応じて辞書を用意し活用する。
- ⑩友人の意見や発表・作品を大切にし、認める。

家庭学習例

【予習】

- ①教科書を音読する。
- ②新出漢字や読めない漢字、意味のわからない語句を辞書で調べておく。

【復習】

- ①授業プリントやワークを整理し、授業を振り返る。
- ②その日に学習した漢字・語句などを確認し、書いて覚える。
- ③宿題は学習したその日のうちにする。
- ④教科書を繰り返し音読する。

テスト勉強

- ①授業プリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解く。
- ②漢字を繰り返し書いて覚える。
- ③教科書を繰り返し音読する。
- ④問題集などで、基礎的・基本的内容を確実に正解できるようにする。

学力向上

- ①辞書などでわからないとことを調べる習慣を身につける。
- ②自分で問題を作成し、テスト形式で復習する。
- ③漢字検定に挑戦する。
- ④新聞を読む習慣を身につける。
- ⑤読書をする習慣を身につける
- ⑥常に美しく文字を書くよう心がける。
- ⑦日記や作文、詩・短歌などの文章を自分で書く。

社 会 科

- 社会科を学習する目的は、みんなが幸せな生活を送ることができる社会を構成する力を、一人ひとりが身につけることです。
- そのためには、自分たちの地域や成り立ち、世界の中での日本の立場や現状をしっかりとつかみ（地理的分野）、それぞれの地域や国の文化を作ってきた歴史を知る（歴史的分野）が必要になってきます。そのことによってお互いが理解を深めていくことができます。
- その上で今の政治や経済など世の中の仕組みを学び（公民的分野）、より幸せな社会をつくることを目指し、社会を支えていく人としての基礎を身につける教科です。

授 業

- ①前の時間の内容を確認し、その日の課題をしっかりとつかむ。
- ②わからないことや疑問に思ったことなどは進んで質問する。
- ③自分の考えをはっきりと述べる。
- ④調査活動では、調査方法を工夫して意欲的に取り組む。
- ⑤話し合い活動等に意欲的に参加する。
- ⑥ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。
- ⑦必要があれば、板書以外のこともメモする。
- ⑧地理的分野では、地図帳や資料集をうまく活用する。
- ⑨歴史的事象を他の事象との関連を考えながらおさえる。
- ⑩公民的分野では、日常生活との関わりを考えながら学習する。
- ⑪授業の振り返りをしっかりと行う。

家庭学習例

【予 習】

- ①教科書をよく読み、疑問点やわからない語句を確認する。
- ②重要な語句をチェックしたり、ノートに書き出したりしておく。
- ③難しい漢字が多いので、事前に調べておく。

【復 習】

- ①授業プリントやワークを整理し、授業を振り返る。
- ②その日に学習した用語や地名、人名、できごとの名称などを確認し、色分けや図式化など工夫してまとめる。
- ③問題集などで基礎的・基本的内容をおさえておく。
- ④間違えた部分をノートにまとめる。

テ ス ト 勉 強

- ①授業プリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解く。
- ②一問一答式で友達と問題を出し合う。
- ③間違えた部分をまとめたノートの内容を確認するなどして、重要な語句を確実に覚える。

学 力 向 上

- ①自分でカードをつくり、機会あるごとに見て覚える。
- ②重要な語句やできごとを覚えるだけでなく、説明できるようにする。
- ③地名や場所を必ず確認して、位置関係を把握しておく。
- ④自分なりの年号の覚え方を工夫する。
- ⑤新聞を読んだりニュースを見たりして、世の中の出来事に関心を持つ。
- ⑥教科書の本文だけでなく、資料や地図・グラフ・写真など見ておく。
- ⑦図書館や博物館などの施設を訪ねてみる。

数 学 科

■ 数学的な考え方を身につけることは、いろいろなものの見方・考え方で物事をとらえ、実生活における利益・不利益を見つけ出し、合理的に問題を解決し、より良く生活していく上で必要な力です。

- ・ これまでの学習で得られた知識（経験）を使って、新しい課題を解決していく力
- ・ 問題に対して、直感でなく、誰もが納得するよう筋道立てた考え方をする力
- ・ 先を見通して（次を予測）、問題を解決していく力
- ・ 無駄を省き、合理的に問題を解決する力
- ・ 色々な視点で見たり考えたりする力

これらを育てるために数学を学習します。

授 業

- ①前の時間の内容を確認する。
- ②授業の課題をしっかりとつかむ。
- ③自分の考えが正しいかどうか進んで発表して確認する。
- ④授業に集中し、先生の説明や友達の発表をしっかりと聞く。
- ⑤板書事項は必ずノートにとり、色や記号などを工夫し、自分の考えや解決の過程が一目でわかるノートにする。
- ⑥板書以外のこともメモをする。
- ⑦わからないことは必ず質問して解決する。
- ⑧教科書の中の例題や図などを生かして、解き方のパターンを覚える。
- ⑨余裕があれば、いろいろな解き方にチャレンジしてみる。

【予 習】

- ①教科書や例題や練習問題などを自分でやってみて、分からないところ、できないところを確認しておく。

【復 習】

- ①授業プリントやノート、ワークを整理し、授業を振り返る。
- ②授業で学習した問題をもう一度解いてみる。
- ③間違えたところは、確実に暗記するぐらい復習する。
- ④復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。
- ⑤宿題は、学習したその日のうちにする。

家庭学習例

テスト勉強

- ①教科書をよく読み、まとめや大切なところを確認する。
- ②テスト範囲の教科書やプリント、ノート、ワークなどの問題を何度も繰り返し練習する。
- ③わからないことは、先生や友達に聞いて必ず解決しておく。

学力向上

- ①参考書や問題集を購入し、類似した問題を解いてみる。
- ②早く解けるようになるために時間をきめてどこまでできるか挑戦する。
- ③テストで間違った問題に再度取り組み、確実に自分のものにする。
- ④自分で問題を作成し、テスト形式で解いてみる。
- ⑤数学検定に挑戦する。
- ⑥ゲーム形式で友達と問題を解いてみる。
- ⑦余裕があれば、入試問題や解くのに時間のかかる問題にも、時間をかけてじっくり取り組む。

理 科

- 理科（自然科学）は、自然を対象とする学問です。そして、皆さんが学習するのは、その入り口の部分です。学習すればするほど奥が深く、謎が次々と沸き起こります。その謎を科学的に解明していくことが理科の楽しみであり醍醐味です。
- 理科の学習では、疑問を科学的に解決していく過程を通して、基礎的な知識や技能だけでなく、観察力や表現力も身につきます。それらは社会に出てからも大いに役立ちます。
- 自分を取り巻く環境を知り、現象を知ることで自然の偉大さを知り、自然環境の大切さを考えていきましょう。

授 業

- ①授業の課題をしっかりとつかむ。
- ②予想を立てたり、実験結果から何がわかるかをしっかり考える。
- ③実験や観察では、何を調べるか考えて、班で協力して取り組む。
- ④実験では先生の指示に必ず従い、安全面に十分注意して取り組む。
- ⑤実験や観察では細かい変化に注意し、自分の言葉でまとめる。
- ⑥先生が板書したことは、ノートに工夫しながら丁寧にまとめる。
- ⑦板書以外のこともメモをする。
- ⑧公式や重要語句は確実に理解しておく。
- ⑨積極的に発表し、わからないことは質問して理解しておく。

家庭学習例

【予 習】

- ①教科の特性で必要ないことが多いが、与えられた課題はしっかりとする。

【復 習】

- ①授業プリントやワークを整理し、授業を振り返る。
- ②その日に学習した理科学用語を、正しい漢字で書けるようにしておく。
- ③理解しにくいものは図に書いてまとめ、視覚的にとらえるようにする。
- ④宿題や練習問題を学習したその日のうちにする。
- ⑤復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。

テスト勉強

- ①理科学用語を繰り返し書いて覚える。
- ②公式や復習で図に書いてまとめた重要事項を整理する。
- ③授業プリントやワーク、ノートなどの問題を繰り返し解く。

学力向上

- ①進んで自然とふれ合い、身近な自然の様子を観察する。
- ②自然現象は関連し合っていることが多いので、物事のつながりに目を向けて学習する。
- ③疑問に思ったことを、図書館やインターネットで積極的に調べる。
- ④実験結果や様々な現象を自分の言葉で具体的に説明できるようにする。
- ⑤図書館や博物館、科学技術館、動物園など施設を訪ねてみる。
- ⑥理科に関するテレビやニュース、新聞記事、科学雑誌等を読んでみる。

英 語 科

- 世界の様々な人たちと話してみたいと思いませんか。そして、その生活や文化に触れてみたいと思いませんか。英語は他の国の人たちとコミュニケーションをとったり、世界中の人々と助け合って生きていくために必要な言葉です。
- 英語を学習してお互いの気持ちや考えを伝えあい、世界のいろいろな人々と理解し合えるようになりましょう。
- 日本語や風俗習慣等の日本文化を見直すことができるとともに、違った国の文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重し合う気持ちを深めることができます。

授 業

- ①前の時間の内容を確認する。
- ②その日の学習課題を確認する。
- ③単語や発音や教科書の音読は、大きな声ではっきりと言う。
- ④音楽教材や先生の発音・リズムを集中して聞き練習する。
- ⑤ゲームや英語での会話などの学習活動に積極的に参加する。
- ⑥間違いを気にせず、意欲的に発表する。
- ⑦基本文や表現をしっかり覚える。
- ⑧板書はすばやく書き写し、ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。
- ⑨わからないことは先生やALTに質問し、必ず解決しておく。

家庭学習例

【予 習】

- ①学習する単元の意味のわからない単語を辞書などで調べておく。

【復 習】

- ①授業プリントやワーク・ノートを見直し、授業を振り返る。
- ②学習した単語・例文などを繰り返し練習し覚える。
- ③復習で出てきた疑問点を整理し、解決するようにする。
- ④宿題にきちんと取り組む。

テスト勉強

- ①授業プリントやワーク、問題集などの問題をもう一度解いてみる。
- ②わからないものは、先生に聞きに行き解決する。
- ③教科書の本文や単語・例文などを、繰り返し音読したり、書けるよう練習する。

学力向上

- ①日常の出来事などを英文にして、先生に見てもらう。
- ②英語検定などに挑戦する。
- ③ALTに積極的に話しかける。
- ④テレビ・ラジオの英会話番組やインターネットを活用する。
- ⑤英語放送のニュースやテレビの音声切り替えを利用して、英語に触れる機会を増やす。